

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月06日

計画の名称	豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺を守る海岸整備													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	東京都													
計画の目標	自然環境への影響や利用者に配慮した海岸保全施設の整備を行い、特色ある美しい海岸を保全する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		105	A	105	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	海岸保全施設の整備により、波浪の影響による侵食から背後地等の保全を図る。 海岸保全施設の整備により解消される波浪による海岸の侵食面積	0m2/年	0m2/年	540m2/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	離島	東京都	直接	東京都	環境	水国	沢尻・長浜海岸環境整備 事業	人工リーフの保全対策 L=10 5m	神津島村						105	3.62	-
											小計						105		
											合計						105		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 東京都内部で事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 東京都建設局ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	契約不調等により事業進捗に遅れが生じたが、事業は着実に進捗しており、事業効果の発現に向けて海岸整備を引き続き推進する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和7年度以降も、新たな社会資本総合整備計画において引き続き事業を推進し、豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺を守る海岸の確保を図る。	

